



まつもと じゅん

中野区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和4年3月1日号
発行
自由民主党
松本純 後援会
発行責任者
平木 茂
3月号
2022年
No.228

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp/

懸念されるエネルギーの安定供給、食料の安定供給

諸外国との交流の大切さ

ヨルダン、カタール、サウジアラビア訪問で学んだこと

現在の日本は、世界各国からの石油や天然ガスなどの資源の輸入で成立しており、食料の多くも海外からの輸入に頼っています。現在、このすべてが大きく値上がりしており、調達も難しくなりつつあります。

これは世界各国がコロナから回復し、一気に活動を活性化させたことが大きな原因ですが、これが更に悪化すると予測されます。

2月24日、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始したからです。武力による現状変更、これは許されるものではありません。同時に、これは自由社会全体の問題であり、日本人の生活を大きく脅かすものです。さらに言えば、この50年間の日本の生活基盤を揺るがすものにもなりかねません。



カタール外務大臣と(2014年5月1日)

今から約50年前、石油ショックが世界と日本を襲いました。それ以来、安定したエネルギーと食料の輸入のために様々な努力と国際協力を続けてきました。現在、国会では経済安全保障推進法の議論が始まろうとしています。本来、経済安全保障で最も重要なものは、エネルギーと食料の安定確保であり、それを安定して供給する体制です。これは民間だけでできることではなく、政治だけでできるものでもありません。政治が民間を支え、ともに協力し合うことで初めて成立するものです。

現在、自民党内でもエネルギーの安定供給、食料の安定供給に関する緊急の議論が行われています。また、諸外国と協力しどのような助け合いができるかの話し合いも始まっています。松本は微力ながらこれを支えてゆきたいと考えています。というのも2014年から2015年にかけての国際交流の経験があるからです。

2014年にヨルダン、カタール、2015年にはカタール、サウジアラビアを訪問し現地の王族の方々や多くの政治家の方々と関係を深めてきました。あまり知られていませんが、日本とカタールには深いつながりがあり、東日本大震災のあとの電力不足を支えてくれたのはカタールの天然ガスであり、コロナで世界の航空便が遮断される中で、最後までアフリカから日本への帰国を手助けしてくれたのもカタール航空でした。これは単なる輸入取引ではなく、その前提に様々な文化協力や経済協力があつたからできたことであり、人のつながりを大切にしてきたからこそ生まれた関係と言えます。人と人の信頼関係があつてこそその国際交流なのです。

これから世界は大きな変革を迎えると思われまます。松本は日本の政治家として、これまで頂いたご縁を大切にしながら、自分にできることで恩返しさせていただく所存です。

【2022年2月】

松本純の活動記録

- 1日●麻生太郎副総裁面談/自民党本部副総裁室
●自民党副総裁特別補佐拝命
- 2日●厚生労働省説明/薬剤師の養成及び質的向上等に関する検討会
- 3日●志公会例会
●神奈川県医師会菊岡正和会長訪問
- 6日●令和4年度日本薬剤師会関東ブロック協議会/WEB開催
- 7日●卯陪従(湯立神楽、新嘗祭)/富岡八幡宮
- 9日●神奈川県薬剤師連盟令和4年度第1回総務会

- 11日●中原熊野神社祈年祭・稲荷祭
- 13日●麦田町元気朝市/津ノ国屋材木店
●令和4年度豊崎(瀬ヶ崎)稲荷神社初午・神事
- 15日●JUN CLUB定例会
- 16日●第49回中区ふれあい作品展/麦田清風荘
- 21日●中区医師会役員会
- 26日●第19回洋光台梅の里まつり/洋光台西公園
- 27日●山元町二丁目商店街朝市



2/1 麻生太郎副総裁面談
●復党のご報告で副総裁室にお邪魔しました。地元にも自民党にも恩返しをすべきとの副総裁からのお話を伺い、「副総裁特別補佐」を任命するとのご指示を頂きました。



2/7 富岡八幡宮・卯陪従(うべえじゅう)湯立神楽、新嘗祭 ●鎌倉時代より伝わる八百年以上の歴史のある伝統神事。2月、11月の初卯の日に湯立神楽を奉納。佐野主水宮司と佐野巖祐宜により神楽神事が行われました。



2/9 神奈川県薬剤師連盟令和4年度第1回総務会 ●次期参議院選挙に向け薬剤師会組織内候補予定者・神谷まさゆき氏への激励と共に、松本前衆議の今後の支援について審議されました。



2/11 中原熊野神社祈年祭・稲荷祭 ●神殿で杉原宮司により祈年祭が斎行され、続いて隣接する稲荷神社の前で稲荷祭が斎行されました。松本前衆議も柳下志明総代や奉賛会の皆さんと玉串を奉納しました。



2/13 麦田町元気朝市
●麦田元気朝市祭が津ノ国屋材木店内で開かれました。大谷総麦田町発展会会長始め会員の皆さんが朝早くから準備、魅力的なお店の数々に集まった皆さんは楽しまれていました。



2/16 第49回中区ふれあい作品展 ●中区老人クラブ連合会主催の第49回中区ふれあい作品展が麦田清風荘で開催されました。クラブの会員さん方が出展された作品の見事に松本純前衆議も感嘆しました。



2/26 第19回洋光台梅の里まつり ●恒例の梅の里祭りと洋光台地区ミニ健民祭(文化の部)「梅の里写生大会」が開催されました。式典では、洋光台連合自治会の三上勇夫会長による植樹も行われました。



2/27 山元町二丁目商店街朝市 ●山元町二丁目商店街は朝市で大賑わいでした。商店街の皆さんが店舗前や歩道のブースで肉、魚、野菜、和菓子などを販売していて、沢山のお客様の行列が出来ていました。

永田町日記

ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議案

3月1日、衆議院で賛成多数で可決しました

ウクライナをめぐる情勢については、昨年末以来、国境付近におけるロシア軍増強が続く中、我が国を含む国際社会が、緊張の緩和と事態の打開に向けて、懸命な外交努力を重ねてきた。しかし、2月21日、プーチン・ロシア大統領は、ウクライナの一部である、自称「ドネツク人民共和国」及び「ルハンスク人民共和国」の「独立」を承認する大統領令に署名し、同22日、ロシアは、両「共和国」との間での「友好協力相互支援協定」を批准した。そして、同24日、ロシアは、ウクライナへの侵略を開始した。

このようなロシアの行動は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。力による一方的な現状変更は断じて認められない。この事態は、欧州にとどまらず、日本が位置するアジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。本院は、ロシア軍による侵略を最も強い言葉で非難する。そして、ロシアに対し、即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求める。本院は、改めてウクライナ及びウクライナ国民と共にあることを表明する。政府においては、本院の意を体し、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会とも連携し、制裁を含め、事態に迅速かつ厳格な対応を行い、あらゆる外交資源を駆使して、ウクライナの平和を取り戻すことを強く要請する。右決議する。